

原子力災害避難計画の住民理解について

舟木けんじ市議一般質問④

舟木けんじ市議は9月議会一般質問で、原子力災害避難計画についてとりあげました。「島根原発2号機を再稼働させるかどうかの判断が迫ってきている今、安全神話に陥る



質問する舟木けんじ市議

ことなく、市民一人一人が自分はどう避難すればいいのかを改めてよく知り避難計画の実効性を吟味して、稼働の是非を考える必要がある」「日本においては避難計画の実効性を検証する第三者機関は存在しない」「ならば実際に避難しなくてはならない地域住民の目で厳しく計画を検証し、実行可能な計画かどうか住民自身が判断することが求められていると考えるがいかがか」と市長の見解を質しました。

永田明夫防災安全部長は、「避難計画については、今年7日の原子力防災会議で島根地域の緊急時対応が了承された」「本市の避難計画は現時点で最善なもので実効性は確保されていると考えているが作成したら終わりというものはなく不断の見直しを行う」「市民への避難計画の周知も非常に重要」「これまでの周知の取り組みとして、市民のみなさんが参加しやすい多様な機会を通じ、地区ごとの避難計画について説明し意見を聞いている」「今後とも十分な周知の機会を充実させ、避難訓練による検証を通じて避難計画の実効性を高め続けたい」と答弁しました。

豪雨による宍道湖水位上昇と不適切盛り土の調査状況を質す

田中はじめ市議代表質問⑥

田中はじめ市議は、9月議会代表質問で、7月豪雨の際の宍道湖水位上昇の状況と対応、熱海市の土砂崩れ災害について取り上げ、上定昭仁市長に質問しました。



上定市長に質問する田中はじめ市議

田中市議は「万一、宍道湖が溢れば被害は甚大であり、災害対策本部も移転しなくてはならない。豪雨による宍道湖の水位上昇の状況は、また、災害対策本部を移す検討を行ったか」と質しました。

これに対し、上定市長は、「宍道湖大橋南側の観測所における氾濫注意水位は120cm、7月豪雨の際の最大水位は105cmで下回っていた。本庁舎の長期間の停電や施設損壊などで災害対策本部機能が果たせなくなった場合に、本部を他の庁舎に移すことになっているが、今回の豪雨の際

に移転に係る検討は行っていない」と答えました。

続けて田中市議は、「熱海市で、7月3日に発生した土石流災害の教訓を学び、対策を取る必要がある」と指摘し、「市内に必要な基準を満たさない盛り土が存在するかについてのデータはあるか、あるいは今後の調査か」と質しました。

これに対し、上定市長は、「現段階で不適切な盛り土は確認されていないが、国からの総点検の通知を受け調査中。年内に調査を終える」と答えました。

案内文書が改定されました — 就学援助制度

就学援助制度の案内文書が、令和4年度の案内から、言葉づかいをやさしく、説明も文章だけでなく図を用いるなど、分かりやすく改定されました。就学援助制度は、小中学校に通っている子どもたちが、保護者の経済状況によらず安心して通学できるよう、学習に必要な費用を援助する制度です。

案内文書は、新入学の方には就学時健診の際、在校生には

次年度に向けて2学期に配布されています。

松江市では就学援助制度の利用が例年13%程度で、コロナ禍で子育て世代が打撃を受けているのに申請が増えています。

新日本婦人の会が、制度の周知を工夫すべきと、担当課を招いて学習に取り組み、収入要件の目安を示すことなど案内文書の改定を要望。たちばなふみ市議が議会質問で取り上げていました。

この度の改定で、収入要件のモデルケースが「世帯2人の場合給与収入約279万円」など、5人世帯まで例示され、文面も「お子さまが安心して学校に通えるよう」などの表現に変更されました。



実現しました

中海スカイポートの水鳥観察やサイクリングの休憩に

一人でも多く、必要な方に制度が届くことが望まれます。

中海スカイポート（松江市上宇部尾町）に案内看板が設置されました。

待合所は近隣の方が朝夕鍵を空け閉めし、誰でもきれいなトイレ（多目的トイレも完備）を利用したり、水鳥の観察ができる施設です。サイクリストの方の休憩などに最適と好評です。

さらに多くの方にご利用戴ければと思います。

船着き場についても、予約は必要ですが利用することができます。

たちばなふみ市議が6月議会の一般質問でとりあげていました。



たちばなふみ市議会議員

しかし「誰でも使える」などの案内看板がなく、「せっかくの施設が分かりにくいのでは?」「もっとたくさんの方に利用してほしい」との声がありました。

この度設置された看板にはトイレのマークのほか、「どなたでもご利用いただけます」と表示され、大変わかりやすくなりました。

冬に向けて中海で過ごす野鳥も増えていきます。これを機

